

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2015年9月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

必要な医療・介護が受けられるように

9月25日、大通公園で宣伝署名行動！署名待ちの列

北海道社保協は、北海道民医連や介護に笑顔を道連絡会と共同して、「国の責任で、お金の心配なく、だれもが必要な医療・介護を受けられるように」国会請願署名をはじめました。

たった今退院させられたばかりの方も署名

25日は、憲法25条の25に合わせて、北海道民医連などが、戦争法の廃止とともに、社会保障の充実を求めて、大通公園で宣伝署名行動を行いました。道ゆく方の反応がよく、署名を待つ列ができました。

署名に協力された方は、「たった今、息子が退院したばかり。まだ入院が必要だが医師からベッドがないと言われ、しかたなく退院した」という母親や、「将来、介護が心配です」「私も介護職場で働いていて切実です」という方もいました。中には、参加者が「安倍さんは本当に困ったことをしますね」と話すと、「安倍には、『さん』はいらない。すぐにやめてもらいたい」という方もいました。

国の責任で お金の心配なく
だれもが必要な医療・介護を
受けられるように

国会請願署名

2015年 月 日

北海道民医連 北海道介護に笑顔を

「国庫負担を増額して、医療・介護の保険料と自己負担を引き下げてください。」「公的保険の範囲を狭めることなく、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してください。」「どこでも、必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、医療機関や介護・福祉施設を確保してください。」「医師、看護師、介護職を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。」「消費税増税ではなく、軍事費を削って、大企業や富裕層の応分の負担で、社会保障費を大幅に増やしてください。」

お名前 住所

北海道民医連道連会 / 北海道社会保障推進協議会 / 介護に笑顔！北海道民医連
〒060-0803 札幌市中央区南一条西11丁目1-102号

請願項目

- 1 国庫負担を増額して、医療・介護の保険料と自己負担を引き下げてください。
- 2 公的保険の範囲を狭めることなく、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してください。
- 3 どこでも、必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、医療機関や介護・福祉施設を確保してください。
- 4 医師、看護師、介護職を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。
- 5 消費税増税ではなく、軍事費を削って、大企業や富裕層の応分の負担で、社会保障費を大幅に増やしてください。

北海道保険医会が街宣！雨の中、白衣で医療制度の改善訴える

9月9日北海道保険医協会は、だれもが安心して受けられる医療の実現をめざして、大通公園で街頭宣伝を行いました。あいにくの雨でしたが、医師や歯科医師など白衣を着て約20人が参加し、ティッシュ付のチラシを配布するとともに、小笠原俊一会長をはじめ、医師や歯科医師が次々とマイクを握り訴えました。



「安倍政権の医療改革は患者負担を増やし、できるだけ国の負担を減らすもので、患者さんを生活や健康に大きな影響を及ぼす改悪が目白押し」と批判し、75歳以上の保険料の引き上げ、入院時食事代の自己負担引き上げ、紹介状なしで大病院受診時の定額負担の導入を決め、さらに湿布など市販類似薬の保険外し、外来時定額負担の導入などを検討していると批判しました。だれもが、いつでも、どこでも、経済的な心配なく、安心して医療が受けられる制度の必要性を訴えました。

いよいよ 10月12日は、北海道社会保障学校 in 江別 江別市民会館



記念講演は「安倍政権の社会保障改革のゆくえ」

講師は 芝田英昭・立教大学教授

- 4つの分科会 ①国保制度よくするために（都道府県化と保険料引き下げ運動）
②これからどうなる医療・介護 ③マイナンバー制と社会保障 ④くらしに役立つ講座